令和7年度 青森県立田名部高等学校 学校経営方針

令和7年4月4日(金)

- 1 校訓「自律」「協和」「純正」
- 2 教育目標 「全人的な人間教育の実現」 〜知・徳・体を調和的に発展させ、社会に貢献できる人間の育成を目指す〜

3 重点目標・具体的方策

全日制は、むつ・下北地域の子どもたちの「進学を支える重点校」として、生徒、保護者、地域の 期待に応えられるよう、高い進路志望の実現を支援する。

定時制は、むつ・下北地域の子どもたちの「学びのセーフティーネット」として、生徒にとって安全・安心で居心地の良い場所であるとともに、ソーシャルスキルを育みながら多様な進路志望の実現を支援する。

これらの目標の実現に向けてスクールミッション及びスクールポリシーの内容を踏まえ、次の(1) \sim (6) を実践する。

(1) 学習指導の充実

- ①「わかる授業」を通じて生徒の学習意欲を高めるとともに、自学自習の習慣化を図る。
- ② 互見授業、研究授業、各種研修を通して、「わかる授業」を実現するためのスキルアップを図る。
- ③ ICTを効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。

(2) 生徒指導の充実

- ①「挨拶をする」、「規則を守る」、「他者を思いやる」など、「当たり前のこと」を徹底する。
- ②「絶対にいじめを許さない」という姿勢を示し、「いじめをしない」という意識を涵養する。 また、いじめが発生した際は、全校体制で迅速かつ適切に対応する。
- ③ 部活動、学校行事、特別活動などを通じて、コミュニケーション力や人間力を磨く。

(3) 進路指導の充実

- ① 生徒一人一人の進路志望の実現に向けて、進路指導計画に工夫を凝らす。
- ② 大学の学部・学科、入試問題、学校推薦型・総合型選抜に関する情報収集と研究を推進する。
- ③ 面談、学年集会、進路講演会、PTAなどを通じて、生徒・保護者の進路意識の高揚を図る。

(4)教育相談・特別支援教育の充実

- ① 日常的な会話、面談、観察などを通じて、悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努め、個々に寄り添った支援・指導を行う。
- ② 特別な支援・配慮を必要とする生徒に対し、SSWやSC、外部機関と連携し、情報を共有しな がら組織的に対応する。

(5) 開かれた学校づくりの推進

- ① ホームページや学校説明会、授業公開などを通じて、積極的に学校の情報や状況を保護者や地域の方々に発信する。
- ② 総合的な探究の時間・教科指導・その他の課外活動において、中・高・大の連携を推進する。

(6) 快適な職場環境の醸成

- ① 教職員間のコミュニケーションを円滑に行う(思いやりの気持ちを大切に)。
- ② 教育公務員としての自覚を忘れることなく、服務規律を遵守する。
- ③ 自主的かつ積極的にワーク・ライフ・バランスの適正化を図り、心身の健康を維持する。